

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	調合指針改定小委員会		主 査 名：梶田 佳寛 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (鉄筋コンクリート工事運営委員会)		委員長名：梶田 佳寛 主 査 名：阿部 道彦
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2015 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>(設置目的) 調合指針は、1976 年に「コンクリートの調合設計・調合管理・品質検査指針」として制定され、1994 年および 1999 年に「コンクリートの調合設計指針」として改定され、その後、増刷されることなくほぼ絶版状態が続いている。コンクリートの調合設計は、コンクリートの性能、品質を左右する重要な作業であり、建築の設計・施工に携わる者が身につけておかねばならない技術である。今日、コンクリート材料の多様化、コンクリートの高性能化が進み、調合設計はますます重要になっている。今回の改定では、本会が制定してきた各種材料を使用するコンクリートの指針の内容を包含するものとする。</p> <p>(各年度活動計画) 2011 年度は 1999 年版の問題点の抽出と改定版の内容の検討、2012～2013 年度は本文書の検討および実験計画と実施、2014 年度に解説案を検討し、指針を完成する。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>梶田佳寛 (宇都宮大学)、鹿毛忠嗣 (建築研究所)、陣内浩 (大成建設)、伊藤智章 (宇部興産)、太田達見 (清水建設)、小泉信一 (BASF ポゾリス)、小島正明 (竹中工務店)、酒井正樹 (大林組)、佐藤幸恵 (東京都市大学)、鈴木澄江 (建材試験センター)、寺西浩司 (名城大学)、道正泰弘 (東京電力)、西祐宜 (フローリック)、宮野和樹 (前田建設工業)、吉田泰 (大成建設)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)			
2011 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	本年度から開始し、現在のコンクリートの調合設計の問題点を検討した。今日、コンクリート用化学混和剤の進歩が著しく、単位水量や細骨材率などの調合要因が異なっても所要のスランプ、スランプフローのコンクリートが得られるようになった。しかし、それらの違いがコンクリートのワーカビリティや硬化コンクリートの力学性状、耐久性、長期性状にどのように影響するかは不明である。そのため 2012 年度に実験を行うこととした。
委員会活動の問題点・課題	実験費用を委員会経費で支出可能となるようにしてほしい。